

現場説明書

作業名 収穫調査委託

入札番号 6号物件(紫波地区)
(地上型3Dレーザスキャナを活用した収穫調査)

作業場所 岩手県盛岡市大ケ生字虫壁山国有林
515林班は3小班外

盛岡森林管理署

事業実行における説明事項

1. 調査数量等

調査箇所及び調査数量等については、別紙1「収獲調査委託箇所の概要」による。

2. 支給材料及び貸与品について

調査に必要な材料については、当署において支給するので、仕様書等に基づき適正な管理に努めること。

なお、材料（貸与品）及び数量は別紙2「支給材料及び貸与品一覧」によるが、やむを得ない事情の場合のみ追加を認める。

3. 国有林地理情報システムの借受けについて

契約締結後は、申請により国有林地理情報システムの地図データ（シェープファイル）、衛星画像の借受けが可能です。

地図情報等の借受け後は責任を持って適正に管理すること。

4. 国有林野情報管理システムの使用について

収獲調査復命書情報の入出力は、受託者が保有するパソコンから行うが、入出力に当たり国有林野情報管理システム利用申請が必要なことから、利用申請書を提出すること。なお、調査報告書作成に係る作業場所及び作業に当たり必要となる設備、備品及び消耗品等については受託者の責任において用意すること。

5. 調査箇所の境界について

収獲調査箇所と隣接する小班等の境界に疑義が生じた場合は、すみやかに監督員の指示を仰ぐこと。

6. 調査について

別紙3「特記仕様書（地上型3Dレーザを用いた標準地調査について）」に基づき、林内を十分踏査して林分状況に即した、より精度の高い調査を行うこと。

7. 収獲調査復命書の提出について

成果品の提出にあたっては、紙媒体のほか、電子媒体（PDF等）及び立木調査野帳入力データ（CSVファイル）の提出もお願いいたします。

別紙 2

支給材料及び貸与品一覧

入札番号：6号物件（紫波地区）（地上型 3D レーザスキャナを活用した収穫調査）

支給する材料

	品 名	数 量	単 位	備考
区域標示	スプレー（青）	2	本	
	ガンタッカー針	12	箱	
	収測番号札（黄）	287	枚	
	収測番号札（白）	25	枚	
立木調査	ガンタッカー針	-	箱	
	ナンバーテープ	-	巻	
その他	復命書整理袋	3	袋	
	測量野帳	-	冊	
	毎木調査野帳	-	冊	
	樹高調査野帳	-	冊	

特記仕様書(地上型3Dレーザスキャナを用いた標準地調査について)

1. 調査方法について

具体的な調査方法等については、契約後に手交する「地上型3Dレーザを活用した収穫調査実施手順(標準地プロット調査)」(以下、手順書)を参照すること。

2. 使用する機器等について

計測装置及び計測データ解析ソフトウェア等については、以下の規格を満たすものを受託者自身で調達して使用すること。

(計測装置)

- ① 最大スキャン速度: 43,200 点/秒以上
- ② 立木の検出範囲: 15m以上
- ③ レーザの種類: クラス1
- ④ スキャニング角度: 垂直 270 度以上、水平 180 度以上
- ⑤ その他: GPS 搭載、バッテリー稼働、カラー画像化システム
- ⑥ 記録媒体: 外付け USB メモリ

(計測データ解析ソフトウェア)

- ① 次の計測集計解析が可能であること
(1) 胸高直径 (2) 樹高 (3) 立木本数 (4) 材積 (5) 立木位置図データ
- ② 計測データ解析ソフトウェアは最新のバージョンであること。

(動作環境(PC))

- ① オペレーティングシステム: Windows10、11(64ビット)
- ② NET Framework: 4.7.2 以上
- ③ プロセッサ(CPU): Intel Corei5(Intel Corei7 推奨) 以上
- ④ メインメモリ: 8GB 以上
- ⑤ 記憶装置: 5GB 以上の空き容量がある HDD(SSD を推奨)
- ⑥ ディスプレイ: SXGA(1280×1024) 以上推奨
- ⑦ USB ポート: 空き USB ポート 1 つ以上

3. 標準地の標示について

標準地は立木に青色スプレー又は青テープで標示すること。
また、計測地点は仮杭(頭に青色テープ)で標示すること。

4. 樹高の補正について

地上型3Dレーザスキャナにより解析した樹高データと実際の樹高に2メートル以上の差異が認められる場合には、計測データ解析ソフトウェアを用いた樹高補正(手順書参照)を行うこと。

5. 提出資料について

通常の収穫調査で必要な資料のほか、標準地の面積を表示した「立木配置図」(手順書参照)に「全立木リスト」(計測データ解析ソフトウェアから出力)を添付し、復命書の付属資料として提出すること。

なお、標準地の測量は基本的に地上型3Dレーザスキャナで行うこととし、この場合、標準地に係る測量野帳及び実測原図は不要である。

6. 計測データの提出について

地上型3D レーザスキャナで計測したデータについては、事前にウイルスチェックを行ったうえで、大容量ファイル転送サービス(アップロードリンクは森林管理(支)署から発行)で提出すること。

7. 完成検査について

完成検査は森林管理(支)署が保有する地上型3D レーザスキャナを用いて標準地内の材積、本数、面積の審査を行うこととし、単木ごとの胸高直径及び樹高の審査は行わない。樹種及び品質区分については、「立木配置図」と「全立木リスト」を用いて現地との照合を行う。

その他の審査事項及び再調査の基準等については、「東北森林管理局国有林野産物収穫調査の現地審査要領」のとおりとする。

8. その他

この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じ監督職員と協議のうえ決定すること。

作業名：収獲調査委託 6号物件（紫波地区）

（地上型3Dレーザスキャナを活用した収獲調査）

現場説明に対する質問回答書

現場説明に対する質問事項	質問事項に対する回答